

証明書

三菱電機株式会社 中津川製作所
所長 岡田 奎司 殿

東京都中央区日本橋茅場町8番8号



財団法人大建研試験センター
理事 英勇



平成14年 7月12日付けで申請された以下の製品は、次の告示に該当することを証明する。

平成14年 7月26日

1. 対象製品

商品名：「外壁用温度ヒューズ連動防火ダンパー」

2. 該当告示及びその内容

平成12年建設省告示第1369号第1第二号に定める防火ダンパー

3. 申請内容の説明

詳細を別添1に示す。

4. 証明の条件

本証明は、申請者の提出資料に基づいて判断したものである。提出資料の内容に含まれないものもしくは異なるものについては、証明の対象外である。

当該製品の取り付け要件、遮煙性能及びヒューズの作動要件については、証明の対象外である。

別添1

申 請 内 容

1. 商品名

「外壁用温度ヒューズ連動防火ダンパー」

2. 申請の概要（申請者の提出資料による）

2-1. 製造者名

三菱電機株式会社 中津川製作所

2-2. 製品の形状・寸法等

製品の形状及び寸法を表1に、羽根の寸法を表2に示す。

表1 製品の形状及び寸法

単位：mm

| 形名 | 開口面積 (m ²) | 寸法 | | | | | | | | |
|-------|---------------------------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | A | B | C | D | E | F | G | H | J |
| PS-35 | 0.141 | 464 | 406 | 403 | 385.5 | 550 | 393 | 355 | 376 | 375 |
| PS-40 | 0.161 | 490 | 432 | 453 | 411.5 | 576 | 419 | 405 | 402 | 401 |

表2 羽根の寸法

単位：mm

| 形名 | 羽根寸法 | | 羽根枚数 |
|-------|-------|-------|-------|
| | a | b | |
| PS-35 | 385.5 | 385.5 | 矩形 1枚 |
| PS-40 | 411.5 | 411.5 | 矩形 1枚 |

2-3. 製品の組成及び構成

製品の組成及び構成を表3に示す。

表3 製品の組成及び構成

単位:mm

| 品番 | 名称 | 組成及び構成 |
|------|------------|---|
| 01 | 本体ケーシング | 材質:熱間圧延軟鋼板 SPHC (JIS G 3131) 表面処理:アクリル樹脂塗装 厚さ:1.6 |
| 02 | 羽根 | 材質:熱間圧延軟鋼板 SPHC (JIS G 3131) 表面処理:アクリル樹脂塗装 厚さ:2.0 |
| 02-1 | 羽根おもり* | 材質:SPHC 表面処理:アクリル樹脂塗装 厚さ:2.0~3.2 |
| 02-2 | コイルバネフック* | 材質:SPHC 表面処理:アクリル樹脂塗装 厚さ:1.6 |
| 03 | ウェザーカバー* | 材質:SUS 厚さ:0.6 |
| 04 | 羽根保持金具* | 材質:SUS 径:φ4 |
| 05 | 温度ヒューズ* | 材質:MP-72A |
| 06 | コイルバネ* | 材質:SUS 径:φ0.9 |
| 07 | 網* | 材質:メタルラス 厚さ:0.5 |
| 08 | 羽根軸受 | 材質:熱間圧延軟鋼板 SPHC (JIS G 3131) 表面処理:アクリル樹脂塗装 厚さ:1.6 |
| 08-1 | 羽根軸 | 材質:熱間圧延軟鋼板 SPHC (JIS G 3131) 表面処理:アクリル樹脂塗装 厚さ:1.6 |
| 09 | 羽根閉鎖ロックバネ* | 材質:SUS 厚さ:0.5 |
| 10 | 羽根保持金具軸受* | 材質:SUS 厚さ:1.0 |

*: 証明対象外

2-4. 製品図

製品図を図1～図3に示す。

単位:mm

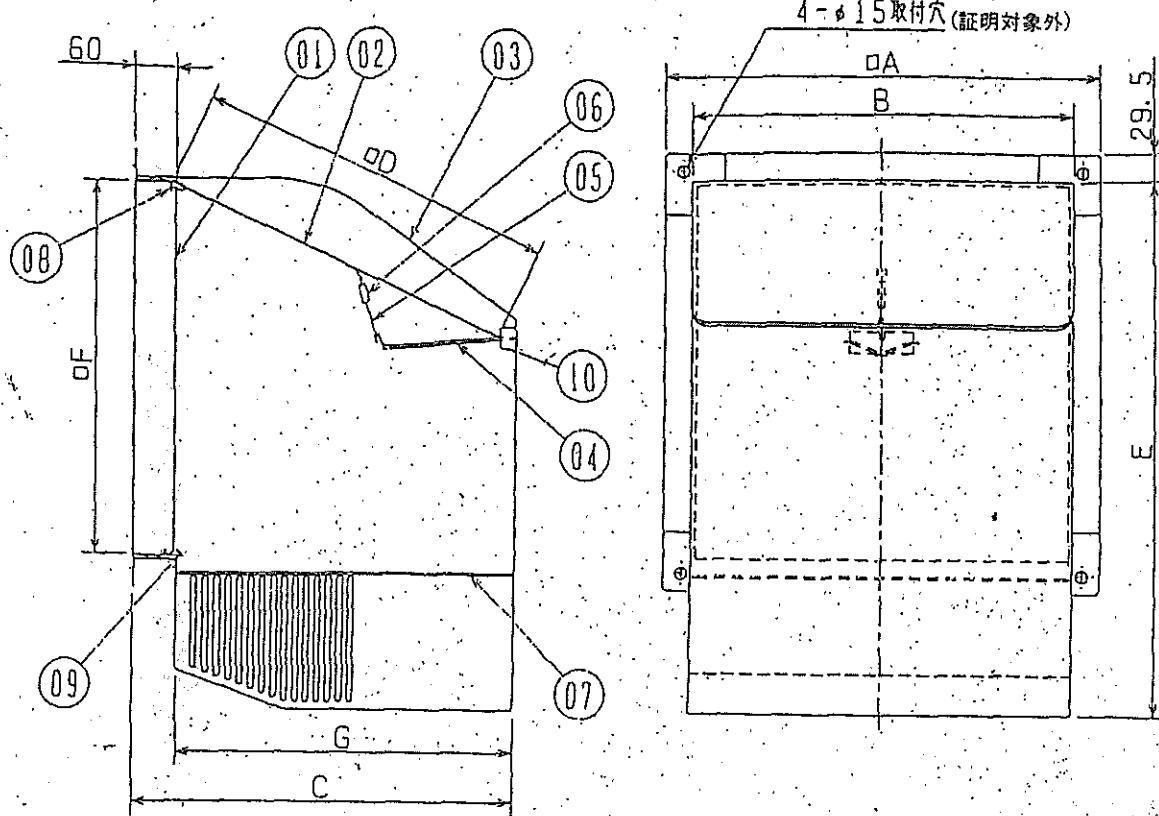


図1 製品図

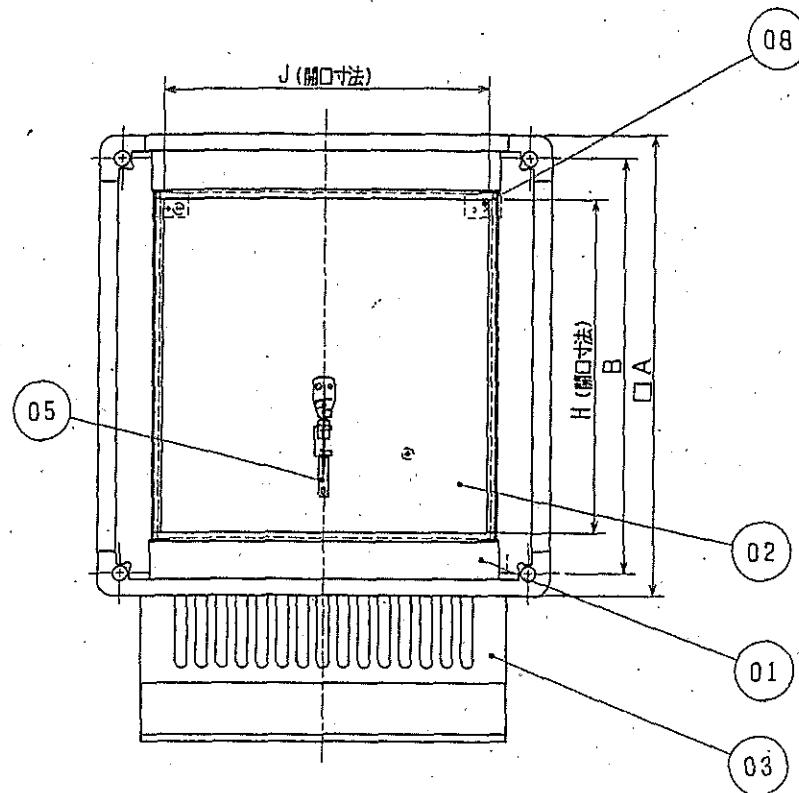


図2 製品図

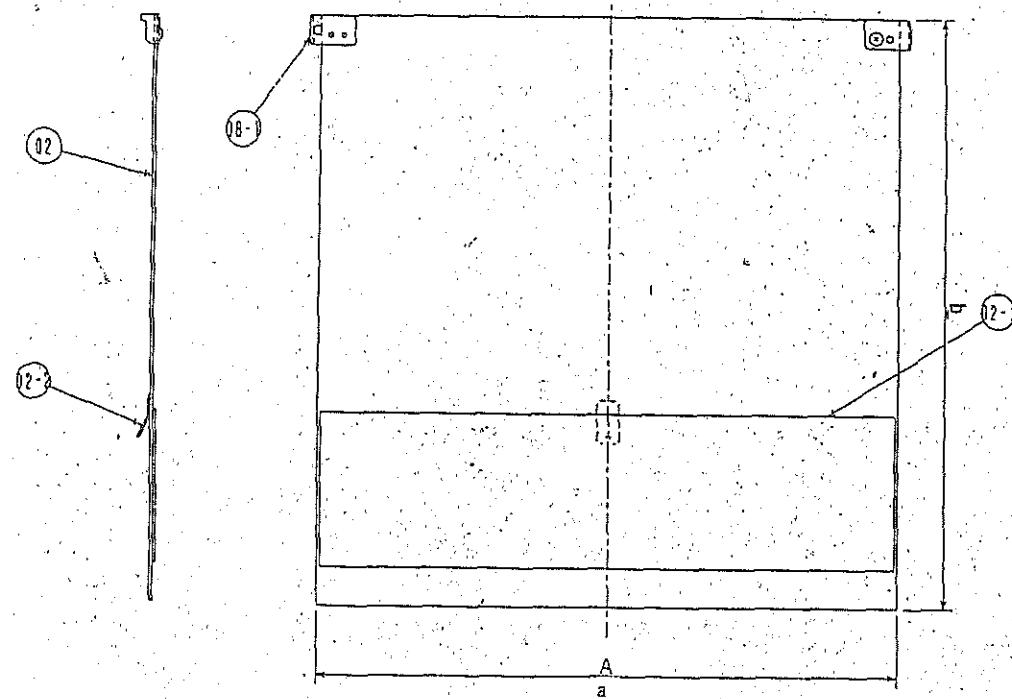


図3 製品図（羽根部）

3. 証明の根拠

3-1. 申請製品の概要

申請された製品は、羽根を厚さ 2.0 mm の熱間圧延軟鋼板 SPHC、本体ケーシングを厚さ 1.6 mm の熱間圧延軟鋼板 SPHC で構成しているものである。

3-2. 告示の記載事項

平成 12 年建設省告示第 1369 号第 1 第二号に該当する構造として、「鉄製で鉄板の厚さが 1.5mm 以上の防火戸または防火ダンパーであること」と定められている。

3-3. 考察

製品は、羽根を 2.0 mm の熱間圧延軟鋼板 SPHC、本体ケーシングを厚さ 1.6 mm の熱間圧延軟鋼板 SPHC で構成しているが、熱間圧延軟鋼板は鉄材の一種であり、鉄製とみなすことができる。

なお、開口寸法の大きさが異なっても、同一の材料を用い、かつ必要厚さを確保しているため、ダンパーが閉鎖した時に閉鎖状態が保持されれば、火炎が通る隙間を生じないことから、防火上の影響はないものと判断できる。

したがって、「外壁用温度ヒューズ連動防火ダンパー」は、平成 12 年建設省告示第 1369 号第 1 第二号に規定される防火ダンパーに該当する。

4. 証明担当者

仲谷一郎、佐伯智寛